

# 日本原子力学会核燃料部会

## 平成18年度第 四回運営委員会議事録

日時 : 平成18年12月14日(木)13:30-15:00

場所 : 原子力学会 会議室

出席者 : (順不同 敬称略)

岩田部会長、山本副部会長、阿部委員、安部田委員、磯部委員、伊東委員、今村委員、緒方委員、来山委員、杉崎委員、野田委員、平井委員、藤田(千)委員、三島委員、和田委員、宇埜氏(山中委員代理)、仙藤氏(藤田(元)委員代理)

### 議事

#### 1. 前回運営委員会および総会の議事録案確認

野田委員から、資料No.1-1、1-2に基づき前回運営委員会および総会の議事録案が提示され、コメントがある場合は早急に連絡が欲しい旨説明があった。

#### 2. プログラム編成委員について

平井委員から、資料No.2に基づき、核燃料部会からの次期プログラム編成委員としてJAEAの逢坂さんを本人の了解を得て推薦した旨紹介があった。

#### 3. 第16回環太平洋原子力会議(16PBNC)技術プログラム委員会への選出について

岩田部会長から、核燃料部会から伊東委員を技術プログラム委員に選出した旨の説明があり、了承された。

#### 4. JMTRへの要望書について

山本副部会長から、第三回運営委員会では、要望書が必要な場合はJAEAから核燃料部会へ説明を受けた後に対応を検討することとしていたが、その後山脇前部会長がJAEA石島センター長から説明を受けて、核燃料部会の意見の大勢を判断し要望書を提出した旨、報告があった。

#### 5. 2006年日韓合同セミナーについて

山本副部会長から、資料No.5-1に基づき、11月1日の日韓セミナーに山脇前部会長とJAEAの鈴木元衛氏が講演した旨紹介があった。詳細は資料No.5-2参照。

#### 6. 2007年「春の年会」企画セッションについて

緒方委員から資料No.6に基づき、3部会で各部会30分×3の合計270分確保できた旨紹介があった。この中で、韓国側からは2件の講演を予定している。

審議した結論を以下に記す。

##### (1) 核燃料部会からの講演追加について

12月24日を締め切りとし、意見、コメントがあればメールにて対応する。

(2) 燃料関係の座長について

緒方委員から国際活動担当の更田委員と木下委員に依頼する。

(3) 韓国講演者の旅費及び懇親会参加費について

懇親会参加費は徴収しない。旅費は、核燃料部会、材料部会、核融合部会での折半となる場合は、部会の予算から支払う。

7. 夏期セミナーでの講師への謝礼に対する提案

三島委員から、資料No.7-1に基づき旅費・謝金等内規(案)の説明があった。謝礼については支払う場合を明記した方が良い等のコメントがあり、再検討することとした。

8. 平成19年度夏期セミナー準備状況

来山委員から、資料No.8に基づき平成19年度の夏期セミナーの説明があった。開催日時を2007年7月19日～21日とすること、開催場所を長野県大町温泉郷とすること、ならびにプログラム・コンテンツ案をプログラムの大筋とすることが了承された。なお、3日目に関西電力殿の黒部第4ダムの見学会を行うが、2月の申請までに参加者を確定する必要があり、事前に参加案内を行う旨説明があった。

9. 次回部会報(No. 42-2)の企画立案状況報告

磯部委員から、資料No.9に基づき、06年冬版の部会報進捗状況として、1月末頃発行予定であること、頁数は80程度を予定していることが報告された。印刷費が予算額を超える場合は運営委員に事前に連絡し了解を得ること了承された。

10. その他

野田委員から、運営委員会名簿を更新するので住所、連絡先等に修正個所があればメールにて連絡して欲しいこと、次回運営委員会は3月中旬の春の年会中に行うが日時はメールで調整すると説明があった。

以 上

---

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

[過去の運営委員会議事録一覧](#)

[もどる](#)